

神戸商船大学変遷のあと(1917年～2002年)

海事科学部部長 西田修身教授の講演資料より抜粋

創立者 川崎氏三代の偉業

川崎正蔵翁(1837～1912)川崎造船所創立者。

「裨教育を根底より排し、新機軸の船員教育を」

御奉公の一端として商船学校の創設を遺志として嫡子に託す。

川崎芳太郎氏(1869～1920)「士魂を有しつつ商才ある海員養成を」

大正5年11月私財を拠出し設立評議委員会を構成。

大阪府浜寺より明石に至る海岸線を実地踏査。兵庫県武庫郡本庄村深江に礎石。

大正6年9月私立川崎商船学校誕生。

川崎武之助氏(1893～1946)高等商船学校への昇格実現へ

東京高等商船学校との格差を是正するための昇格運動を続けた。

大正9年8月「文部省直轄神戸高等商船学校」創立。

国家に献納された私財は総額3,300,284円14銭であった。

年譜を追って7区分に分けられている

1917 1951 大正6～昭和26

・大正7年(1918)4月川崎商船学校授業開始 初代校長 伊東治三郎氏

・大正9年(1920)8月神戸高等商船学校創立 第3代校長 永田泰次郎氏

11月第1期生航海科30名、機関科30名入学

・大正12年(1923)練習船「進徳丸」進水式 ・昭和2年(1927)汽艇「深江丸」進水

・昭和4年(1929)陸上帆船「昭和丸」竣工 ・昭和17年(1942)逓信省へ所管換

・昭和18年(1943)清水高等商船学校設立(翌19年統合収容) ・昭和18年 海技専門学校創設

・同上 5月・8月 米軍機の爆撃、本館ほか焼失 ・昭和20年第6代校長 篠崎認三氏

・昭和21年(1946)5月海技専門学院再開 ・神戸商船大学設立促進連盟結成

1952 1961 昭和27～昭和36年

・昭和27年(1952)神戸商船大学設置(航海科・機関科各60名)修業年限4年6ヶ月

初代学長 大羽真治氏 7月 第1回入学式

・昭和30年(1955)4月～昭和32年8月 北寮・中寮竣工・第1回卒業式・南寮竣工

・昭和33年(1958)実習船「深江丸」竣工 ・航海学科・機関学科に改称

・昭和36年(1961)新寮竣工・プール竣工

1962 1971 昭和37年～昭和46年

・昭和39年(1964)実習船「白鷗」竣工 商船学専攻科設置

・昭和42年(1967)「進徳丸」大学構内に設置 ・船貨輸送研究施設設置

同年 海事資料館・講堂竣工、図書館竣工 11月 創基50周年記念式

・昭和43年(1968)実習船「深江丸」二世竣工 ・武道館竣工

・昭和44年(1969)3月 学園紛争全学封鎖 ・4月保健管理センタ - 設置

・昭和46年(1971)船貨輸送研究施設に防災部門設置

1972 1981 昭和47年～昭和56年

・昭和47年(1972)原子動力学科開設(定員40名) ・海洋実習施設設置

・昭和48年(1973)「深江丸」実習船から練習船へ設置換

・昭和49年(1974)大学院研究科(修士課程)設置 (航海学専攻・機関学専攻各15名)専攻科廃止

・昭和50年(1975)12月 終業年限4年に改正(51年入学者から適用)

- ・昭和52年(1977)大学院研究科に原子動力学専攻増設(定員8名)
- ・昭和54年(1979)航海学科を 航海学科(60名)輸送科学科(20名)に改組
- ・昭和55年(1980)機関学科を 機関学科(60名)海洋機械管理学科(20名)改組
乗船実習科設置 同年9月 第1回乗船実習科終了式
- ・昭和56年(1981)海技実習センタ - 棟竣工
1982 1991 昭和57年～平成3年
- ・昭和57年(1982)女子学生入学
- ・昭和58年(1983)大学院研究科航海学専攻を 航海学専攻(10名)・輸送科学専攻(5名)に改組
- ・昭和59年(1984)同機関学専攻を 機関学専攻(10名)・海洋機械管理学専攻(5名)改組
- ・昭和60年(1985)第2号館別館竣工(現5号館) 昭和62年(1987)練習船「深江丸」二世竣工
- ・平成2年(1990) 学部を4課程に改組商船システム学課程(110名)輸送システム工学課程(40名)
海洋電子機械工学課程(40名)動力システム工学課程(30名)
- ・平成3年(1991) 体育館・保健管理センター竣工(代替) 上海海運学院と学术交流協定
1992 1997 平成4年～平成9年
- ・平成4年(1992) 創基75周年記念式
- ・平成5年(1993) カリキュラム改正 (一般教育廃止、総合科目群・専門科目群設置)
- ・平成6年(1994) 大学院研究科を4専攻に改組 商船システム学専攻(8名)、輸送システム
工学専攻(8名)、海洋電子機械工学専攻(11名)、動力システム工学専攻(11名)
- ・平成7年(1995)1月17日 午前5時46分 阪神・淡路大震災
被害 正門倒壊、海技実習センタ - 傾く(後解体)、ポンドの岸壁崩壊、「進徳丸」
解体撤去、救援活動に学生たち活躍(内閣総理大臣より表彰)
7月 韓国海洋大学と学术交流協定
9月 大連海事大学と学术交流協定
- ・平成8年(1996) 2月 韓国郡山大学と学术交流協定 5月 極低温実験棟再建
- ・平成9年(1997) 2月 世界海事大学と学术交流覚書調印
4月 大学院商船学研究科(博士課程)設置
海上輸送システム科学専攻(4名)、海洋機械エネルギー - 工学専攻(4名)
5月 海技実習棟・艇庫再建(操船シミュレ - タ併設)
9月 練習船「深江丸」初の国際航海(韓国釜山市韓国海洋大学訪問)
- 1998 2002 平成10年～平成14年
- ・平成10年(1998) 地域共同研究センタ - 設置
6月 インドネシア共和国スラバヤ工科大学と学术交流協定
7月 トルコ共和国イスタンブ - ル工科大学と学术交流協定
8月進徳丸メモリアル完成 10月オ - ストラリア商船大学と学术交流協定
- ・平成11年(1999)4月 3年次編入学生定員化(8名) 6月台湾海洋大学と学术交流覚書
- ・平成12年(2000)3月 連合王国カ - ディフ大学と学术交流協定
4月 学部入学定員改正 商船システム学課程(90名)
7月 第1回神戸商船大学運営諮問会議開催
9月 アメリカ合衆国メイン海事大学と学术交流協定
9月 カナダ・ダルハウジ大学と学术交流協定
11月 総合学术交流棟竣工
- ・平成13年(2001)3月 国際交流会館・東寮竣工 深江丸 ISO 9002認証取得
4月 神戸大学・神戸商船大学統合協議会第1回開催
学部カリキュラム改正(導入科目新設、一部科目の月制集中授業実施)

- 5月 クル - ザ - ヨット(クライナ - ベルク)完成披露
- 7月 神戸大学との統合推進に係る合意書に調印
- 10月 国際海事大学連合第2回総会開催
カリフォルニア州立海事大学と学術交流協定
国立木浦海洋大学校と学術交流協定

・平成14年(2002)1月 原 潔学長再選

11月 開学50周年・創基85周年記念式

神戸商船大学が、神戸大学海事科学部となったことで、海そのものがぐっと身近に感じられるようになった。全く知らなかった海事資料館や、進徳丸メモリアルもいつか見学してみたいと思う。

近々乗船の深江丸について紹介しておきます

一世	二世	三世	四世
汽艇「深江丸」 1927 ~ 1945	実習船「深江丸」 一世: 1958 ~ 1968	実習船「深江丸」 二世: 1968 ~ 1973 練習船「深江丸」 一世: 1973 ~ 1987	練習船「深江丸」 二世: 1987 ~

(佐藤

記)